

# 日本医史学雑誌第四十五巻総目次

## 原 著

日本文学にみる医療思潮の歴史の変遷

——疾病観の多重構造——大星 光史……………三〇三

アメリカにおける人痘接種法——一七二一年から

アメリカ独立まで——(その三)……小田 泰子……………三〇四

地蔵寺過去帳による華岡青洲の系譜に関する新知見

……………松木 明知……………三〇七

曲直瀬道三の前半期の医学(一)——「当流」の意義——

……………遠藤 次郎・中村 輝子……………三三三～三三八

医学館の学問形成(一) 医学館成立前後

……………町 泉寿郎……………三三九～三七三

明治一二年沖繩県のコレラ流行と土屋寛信

……………深瀬 泰且……………三七三～四〇〇

Introduction and Development of Pathology

in Korea……………Je G. Chi……………四〇〇～四六九

田原結節の発見者 田原淳 補遺

……………富田 達夫……………五四三～五四四

医学館の学問形成(二) 寛政の改革期の

官医たちの動向——『よしの冊子』の記事から

……………町 泉寿郎……………五四五～五四九

近代日本の対中医療・文化活動——同仁会研究(一)——

## 研究ノート

『魯西亜牛痘全書』安政版の出版の経緯について

……………松木 明知……………四〇一～四三三

九州における近代整形外科の祖、住田正雄

(一八七八—一九四六)の生涯……小林 晶……………四三三～四四四

中川修亭の『麻薬考』の書誌学的研究——四種の写本の検討——

……………松木 明知……………四四五～四九九

## 広 場

マンドラゴラ異聞……………泉 彪之助……………六〇一～六〇五

## 資 料

人痘接種法に反対したイギリスの牧師マッセイ

の説教……………小田 泰子……………七七～八四

桑田立斎『立斎年表』

……………二宮 陸雄・秋葉 實……………八五～九六

池田文書の研究(十九)……池田文書研究会……………九七～二〇九

『よしの冊子』医家関連記事(一)

……………町 泉寿郎……………二一〇～二三三

手塚良斎『医学所御用留』(四)……深瀬 泰且……………四三三～四四〇

池田文書の研究(二十)……池田文書研究会……………四三三～四四三

『よしの冊子』医家関連記事(三)町 泉寿郎……………四四五～四四九

江戸幕府の医療制度に関する史料(九)(その二)

——坂四家の『官医家譜』など(一)——

……………香取 俊光……………四四九～四五九

丁 蕾……………四四三～四五二

追悼

追悼 ユニークな宮崎地方の医療史を編纂した

田代逸郎先生……………木下 和夫……………一三五～一三六

山形敏一先生追悼……………石井 厚……………四九〇～四九六

記事

消息

『桑田立齋先生種痘所之跡』および『桑田立齋アンヌ種痘之碑』の建立……………二宮 陸雄……………三七

関寛斎の開拓精神に学ぶ「寛斎セミナー」開かる……………芝木 秀哉……………三六

ウイリアム・ウイリス文書の里帰り……………順天堂大学医史学研究室……………三九

第38回医史学史研究会・日本医史学会関西支部……………長門谷洋治……………三〇

(一九九八年秋季)合同総会……………杉田 暉道……………三〇

神奈川県北東の医史跡めぐりツアーを終えて……………酒井 明夫……………三〇

精神医学史国際シンポジウム印象記……………岩治 勇……………三〇

第二回北陸医史学同好会例会・総会……………松木 英治……………三〇

洋学史一九九九年研究大会……………平尾真智子……………三三

例会抄録……………館野 正美……………三三

一九世紀末ドイツのベルリン学派によるヒブルギー(Hygiene, 看護療法)について……………中西 淳朗……………三七

〈医は意なり〉致——医学思想的観点から……………岡田 靖雄……………三七

家紋からみた杉田玄白の遠祖……………中西 淳朗……………三七

金子準二——断種史上の人びと(その二)……………中西 淳朗……………三七

横浜と痘瘡……………寺澤 捷年……………三三

紹介

大星光史著『文学にみる日本の医業史』……………寺澤 捷年……………三三

児島保編著『島根名医略伝』……………森 納……………四三

『云備医事』復刻発刊……………江川 義雄……………四七

志田信男訳注『アウイセンナ 医学の歌』……………泉 彪之助……………四七

リチャード・ゴードン著『歴史は患者でつくれる』……………立川 昭二……………四七

吉元昭治著『不老長寿への旅 ニッポン神仙伝』……………新村 拓……………四七

安川里香子著『森鷗外「北游日乗」の足跡と漢詩』……………町 泉寿郎……………四九

山田慶児著『中国医学はいかにつくられたか』……………高島 文一……………四〇

宇和島医師会医学史編集委員会著『宇和島藩医学史』……………萩山 正治……………四六

松木明知編著『中川五郎治書誌』……………深瀬 泰旦……………四九

医史学文献目録 平成九(一九九七)年……………順天堂大学医史学研究室編……………六三

日本医史学雑誌第四十五巻総目次……………六三

第一〇〇回 日本医史学会 学術大会 演題目次……………六三

会長講演……………酒井 シツ……………四七

身体観の歴史 人は「からだ」をどうみてきたか……………熊倉 功夫……………一五

特別講演 1……………熊倉 功夫……………一五

茶と日本人……………熊倉 功夫……………一五

特別講演 2

韓医学の歴史 ..... 奇 昌徳…一五

一般口演

1 新発見「大同類聚方」に関する大同三年五月三日の詔文 ..... 後藤 志朗…二〇

2 浅田宗伯の自筆稿本類—国会図書館蔵野軒本 ..... 町 泉寿郎…二二

3 清医胡兆新の『胡氏方案』について ..... 郭 秀梅・岡田 研吉…二六

4 わが国の近世初期の医療についての一考察 一、古写本、鍼灸秘書 ..... 戸田 静男・亀 節子…二六

5 「後法興院記」に表れた丹波親康の事跡について ..... 戸出 一郎…二六

6 「言経卿記」中の医療について ..... 中山 沃…二七

7 神宮医久志本氏とその秘方 ..... 中西 淳朗…二七

8 異本病草紙に就いて ..... 林 美朗・野寄 理…二七

9 アヴィセンナ(イブン・シーナ)の「医学典範」(ラテン語訳)における精神医学(第二回) ..... 濱中 淑彦…二七

10 系統解剖学の起源としてのヴェサリウス解剖学 ..... 坂井 建雄…二七

11 ウイリアム・ハーヴィ「普遍解剖学講義」における心臓の運動の提示 ..... 月澤美代子…二八

12 Jan Evangelista Purkyněの生涯と業績 ..... 高橋 昭…二八

13 中国伝統医学と道教(第二十回) 籤 ..... 吉元 昭治…二八

14 宋以前の傷寒論について—朝鮮古医書「医方類聚」からの考察 ..... 牧角 和宏…二八

15 田中彌性園蔵傷寒論の考証 ..... 田中 祐尾…二八

16 『金匱要略』水気病篇の「痲癩」について ..... 渡辺 賢治・花輪 壽彦…二九

17 検徴制度の導入と英国「伝染病予防法」—国権問題と日本人医師の養成— ..... 大川 由美…二九

18 中国における梅毒の病名史 ..... 梁 永宣…二九

19 華岡青洲の系譜に関する新知見—海南市の柳川家と川端家— ..... 松木 明知…二九

20 華岡青洲自筆萬病一毒之説 ..... 高橋 均…二九

21 ポンペが松本良順に贈ったジツヘル著「眼病図譜」について ..... 山之内外一・千葉 弥幸…三〇

22 オランダ人医師ファン・デル・ヘーデンと子孫・縁者たち ..... 蒲原 宏…三〇

23 島村鼎甫とウイリス及びボードウインの『日講紀聞』 ..... 津下 健哉…三〇

24 『ウイリアム・ウイリス文書』にみるW・ウイリスの医学教育 ..... 小宮山道夫…三〇

25 パリの古い病院 ..... 今泉 孝…三〇

26 パリ大学旧医学部大円形講堂にある壁画について ..... 清水 陽人…三〇

- 27 大選帝侯時代のベルリン医事、とくにブランデンブルク医事勅令について……………泉 彪之助…三三
- 28 英国医史における学と職と―法制的考察……………栗本 宗治…三二四
- 29 ヨハンニティウス(フナイン・イブン・イスハク)の「ガレノスの小治療学入門」における non-naturals の概念……………平尾真智子…三二六
- 30 九州における医史学研究的系譜(一) 岩能哲の業績と医史学観について……………佐藤 裕…三三八
- 31 飯島魁と近代寄生虫学の系譜……………寺畑 喜朔…三三〇
- 32 郡医と鷗外の父、森静男について……………木村 繁…三三二
- 33 九州における近代整形外科学の祖、住田正雄の生涯……………小林 晶・長門谷洋治…三三四
- 34 済生学舎の顕微鏡科実地演習―特に原玄一郎のペスト菌標本について……………唐沢 信安…三三六
- 35 行われなかった正月儀礼……………水谷惟紗久…三三八
- 36 日本における養生論の引用書目の変遷……………滝澤 利行…三三〇
- 37 初代山脇道作とその門人達の伝記に関する新資料……………八木 淳夫…三三三
- 38 三位法眼糟尾家と録事法眼智玄……………石原 力…三三四
- 39 『阿蘭陀外科指南』の背景について……………ヴォルフガング・ミヒエル…三三六
- 40 テリアカの再検討……………中村 輝子・遠藤 次郎…三三八
- 41 レイディ・メアリの息子が人痘接種を受けた日付と場所について……………小田 泰子…三三〇
- 42 プレンク (J. J. E. von Plenck, 1739-1807) について……………石田 純郎…三三三
- 43 ルイの「肺炎に対する瀉血の効果」について……………藤倉 一郎…三三四
- 44 明治、大正期の埋葬許可証にみる病と死亡年齢……………壹岐 裕志…三三六
- 45 陸軍における航空医学の夜明け……………黒澤 嘉幸…三三八
- 46 昭和初期、二私立医専の創始について―大阪高等医専、大阪女子高等医専―……………長門谷洋治・坂上 俊之…三三〇
- 47 九華筆「扁鵲倉公列伝」について……………宮川 浩也…三三三
- 48 「看病用心鈔」成立の社会的背景……………杉田 暉道…三三四
- 49 江戸期本草家の北陸への関心(二)―野呂元丈の越中国での足跡……………正橋 剛二…三三六
- 50 幕末期、院内銀山の医療と近郷の医師達「門屋養安日記」にみる庶民の医療(三)……………萌 昭三…三三六
- 51 戴天章の温病腹診研究……………梁 嶸…三三〇
- 52 『痧脹玉衡』所載治験例の分析……………友部 和弘…三三三
- 53 『灸炳塩土伝』の意義……………篠原 孝市…三三三
- 54 田代三喜が中国から持ち帰ったといわれる『大徳済陰方』の検討……………遠藤 次郎・中村 輝子…三三六

- 55 暉峻義等と医学史研究―奨進医会にかかわって  
いた人―……………岡田 靖雄…二六六
- 56 足立文太郎のひとと業績について  
……………本宮かをる・オルリー・レジス…二七〇
- 57 明治八年から一六年までに実施された内務省  
医術開業試験について……………樋口 輝雄…二七三
- 58 日本における医学部生化学(医化学)の歩み  
……………柴田 幸雄…二七四
- 59 日本の病院及びその機能の医学史的研究  
……………長谷川敏彦…二七六
- 60 農村医学の発展―佐久病院における臨床疫学的  
方法の実践―……………杉山 章子…二七八
- 61 国際保健への応用を勘案した日本の乳児死亡の  
医学史的研究  
……………岡村 恭子・村山 伸子・長谷川敏彦…二八〇
- 62 近代日本の医療分野人材開発の政策について  
(医師と産婆の役割)……………近藤 久禎・長谷川敏彦…二八三
- 63 『正骨範』から見た江戸時代の整骨療法  
……………陶 惠寧…二八四
- 64 『解馬新書』の骨学用語について……………松尾 信一…二八六
- 65 男装の英国陸軍女医ジェイムズ・バリ  
……………柳澤 波香…二八八
- 66 明治女医史の基礎的研究(三) 婦人共立育見会病院  
……………三崎 裕子…二九〇
- 67 江戸以前全医学著作のインターネット検索  
……………真柳 誠…二九三
- 68 中国古代における一般的医学観について  
……………和田 裕一…二九四
- 69 清以前本草図の作風と学術価値……………鄭 金生…二九六
- 70 熊宗立伝―判明した生没年  
……………小曾戸 洋・王 鉄策…二九八
- 誌上発表
- 71 『公文録』にみる土屋寛信の沖繩派遣  
……………深瀬 泰且…三〇〇
- 72 「中日両国疫病史対照年表」作成にあたって  
……………邵 沛…三〇三
- 73 パオロ・ザッキア「法医問答」にみる性別の判定  
……………西大條文一…三〇四
- 74 朝鮮前期の疫病流行に関して  
……………權 卜揆・黄 尚翼…三〇六
- 75 朝鮮時代侵襲的外科術の発達  
……………申 佐燮・奇 昌徳…三〇八
- 76 韓国における宣教医(第一報)……………高安 伸子…三〇〇